

◆ 今週のコメント

- ・ ジアルジア症の報告が1例(男性, 20歳代)あります。症状は下痢で, 推定感染地域は国内です。推定感染経路は性的接触(同性間)となっています。本年初めての報告です。
- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(男性, 70歳代)あります。症状は頭痛で, 推定感染地域は国内です。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染となっています。本年初めての報告です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(女性, 70歳代)あります。症状は発熱・全身倦怠感・肺炎・菌血症です。本年の累積報告数は6例となっています。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降, 平成25年の累積報告数は15例でした。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は16.57(1,127例)で, 第5週(1月27日～2月2日)をピークに減少しているものの, 依然として注意報レベルの「10」を上回るとともに, 過去5年平均値を大きく上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 60例(肺結核 31例, その他結核 11例, 潜在性結核感染者 18例)うち喀痰塗抹陽性 15例】
- ・ 五類:ジアルジア症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 6例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	16.57	1,127
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.34	260
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	41
	③ 突発性発しん	0.29	12
	④ 水痘	0.20	8
	⑤ RSウイルス感染症	0.05	2
	⑤ 咽頭結膜熱	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

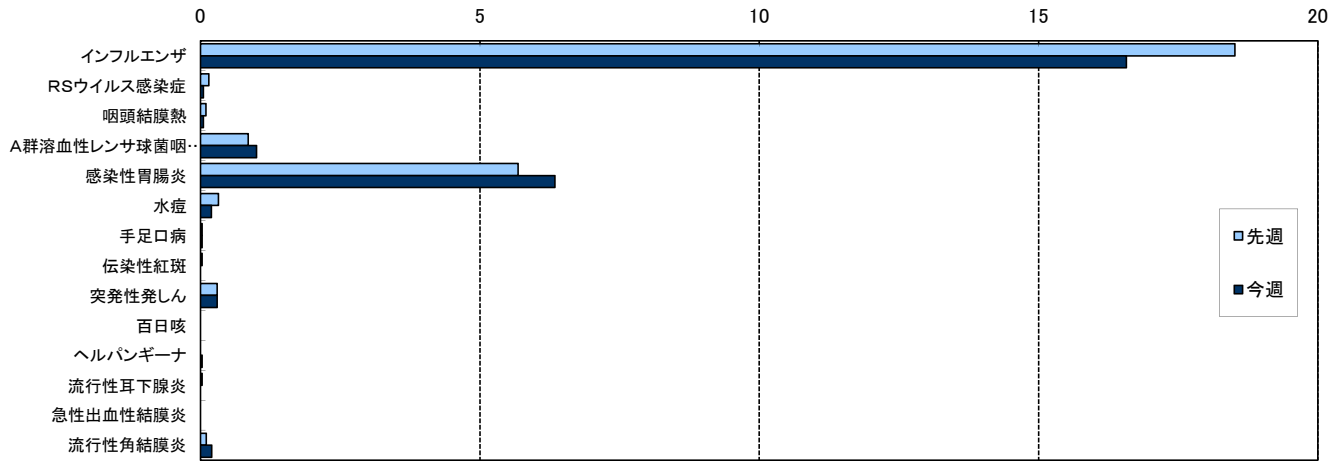
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

(注)京都市のデータは,平成26年3月20日現在の報告数で,全国の還元データと若干異なる場合があります。
また,本情報での患者数は,届出医療機関所在地での集計で,患者の住所を示すものではありません。

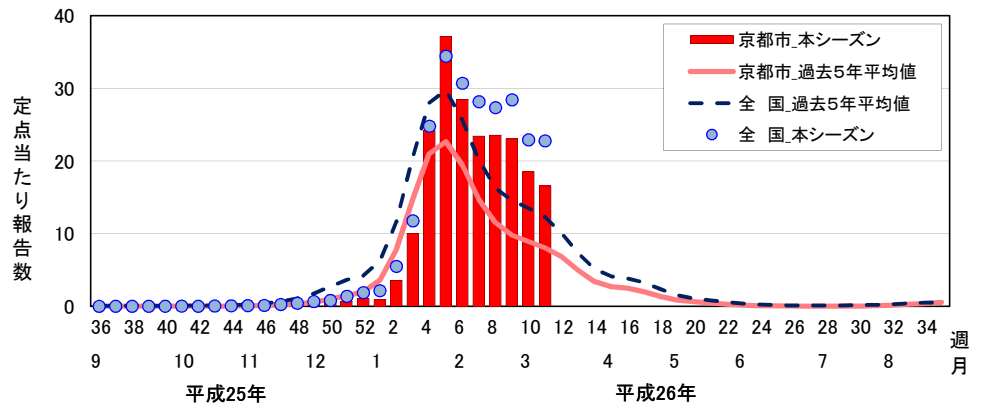
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第11週)と先週(第10週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第7週	1,594
第8週	1,603
第9週	1,568
第10週	1,259
第11週	1,127
累積報告数 (第36週以降)	14,469

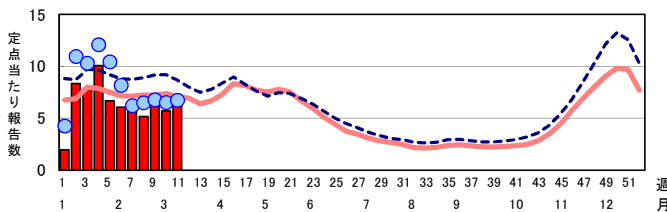


※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

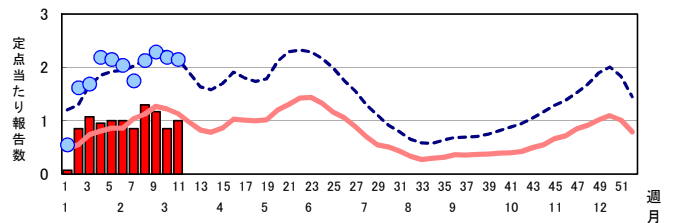
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

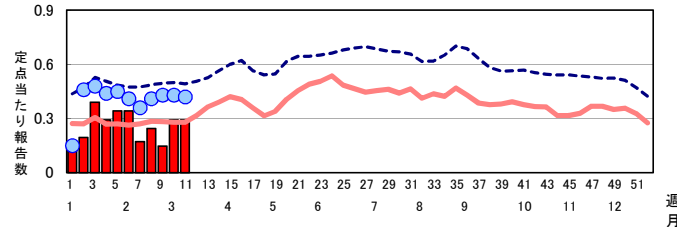
1 感染性胃腸炎



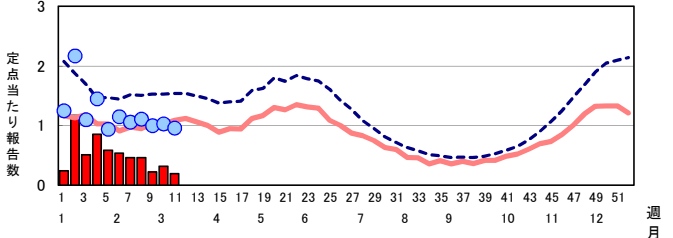
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



3 突発性発しん

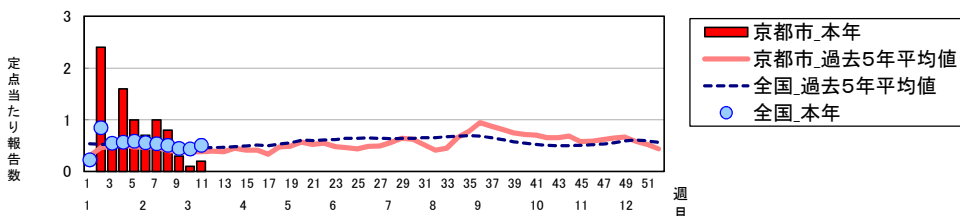


4 水痘



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第11週(3月10日～3月16日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は16.57(1,127例)で、第5週(1月27日～2月2日)をピークに減少しているものの、依然として注意報レベルの「10」を上回るとともに、過去5年平均値を大きく上回っています。

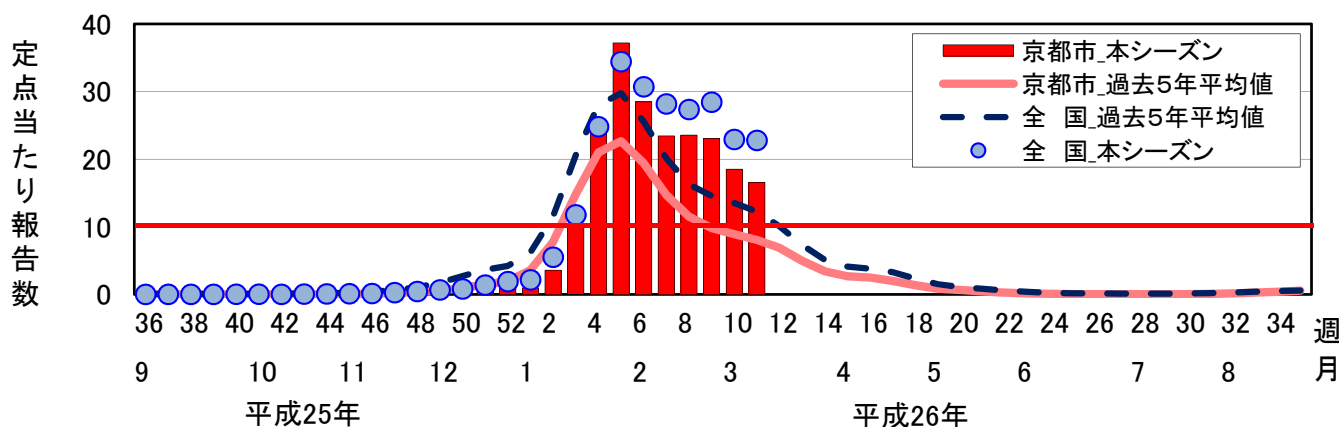
都道府県別では、47都道府県中28府県で前週よりも増加しており、すべての都道府県で依然として注意報レベルの「10」を上回っています。

年齢群別では、5～9歳が377例(33.5%)と最も多く、次いで0～4歳 232例(20.6%)、10～14歳 224例(19.9%)の順となっています。

京都市衛生環境研究所では、今シーズン(平成25年9月～)に、AH1pdm09が27例、AH3型が3例、B型が21例、分離・検出されています。

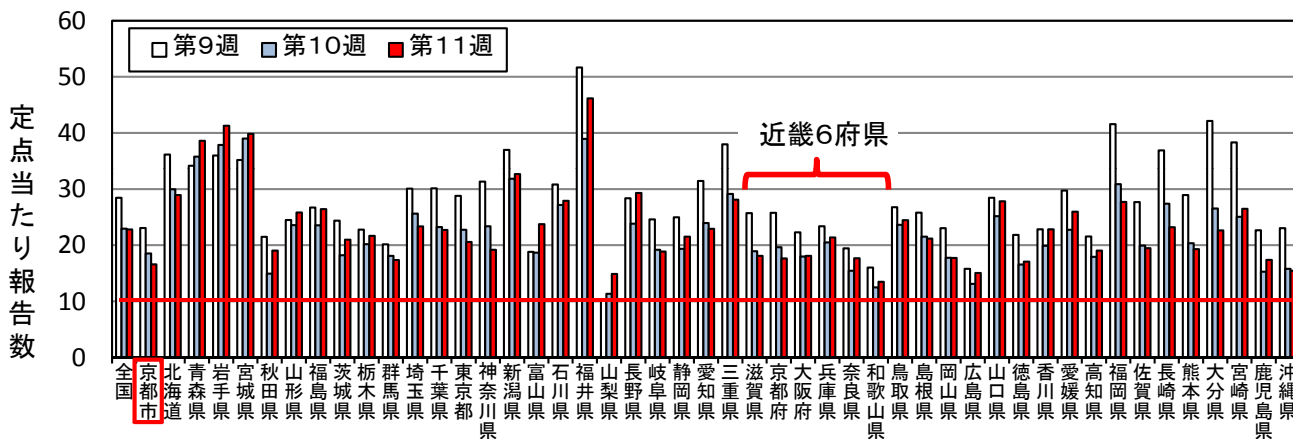
なお、全国のインフルエンザウイルス分離・検出報告数は、AH1pdm09 2,181例(47.2%)、AH3型 1,187例(25.7%)、B型 1,252例(27.1%)となっています。(平成26年3月20日現在)

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

都道府県別定点当たり報告数の推移



年齢群別定点当たり報告割合の推移

